

令和 7 年旭市議会第 2 回定例会請願文書表

受 理 番 号	第 4 号 令和 7 年 5 月 29 日受理
件 名	旭市飯岡地区「海岸減災林整備事業」の中止を求める請願
請 願 者	旭市飯岡 2430 飯岡地区「海岸減災林整備事業」の中止を求める会 代表 奥山隆之
紹 介 議 員	戸村ひとみ
付託委員会	
(請願趣旨) 旭市飯岡地区「海岸減災林整備事業」の中止を求める。 (請願理由) ・ 10 年前に立てた計画 10 年前に立てた計画を、10 年後の実施までに市民に周知することなく、また試験林の検証も行わないままに事業を決行した。 ・ 税金の無駄遣い・津波対策としては逆効果 本事業は 5 年で 2,500 万円を費やす計画だが、コンクリートの上に土を盛って木を植えるという手法では、土は津波と共に土石流となり、津波対策としては逆効果であることから、究極の税金の無駄遣いと言える。 ・ 景観を損ねる上に、ごみの不法投棄・危険動物の温床ともなりうる 飯岡海岸は“夕陽百景”にも選ばれる名所だが、植樹によってこの貴重な景観が損なわれる。 また平成 27 年に試験植樹された平松地先は、雑草や篠のようなものが生え、とても美しいとは言えない状態であり、ごみや不法投棄の温床となっている。近隣住民によると夜になると動物の鳴き声が聞こえ、ハクビシン・蛇等の目撃情報もあり大変危険である。 ・ サーファーや観光客減少の懸念 九十九里ビーチラインは千葉県内でも有数の観光地・サーフスポットであり、一年を通して数多くの観光客が訪れるエリアである。周辺にはカフェや民泊等、海を商材としたビジネスが多数存在するため、植樹によって景観が損なわれることによる観光客の減少は地域経済および、市の税収にも大打撃を与えかねない。 以上	